

# 全国造園フェスティバル 2025

## (第 20 回)

報 告 書



人とつながる  
緑とつながる



一般社団法人

日本造園建設業協会

Japan Landscape Contractors Association

260303

## 目 次

- P. 2……………ごあいさつ  
P. 3……………開催会場数  
P. 4-5……………開催会場一覧  
P. 6……………会場の様子  
P. 7-9……………雑誌・新聞等の掲載  
P. 10-12……………会場担当者アンケート結果  
P. 13……………全国造園フェスティバルの開催の意義の例

## ■ ご あ い さ つ

(一社)日本造園建設業協会は、「第20回 全国造園フェスティバル2025」は、10月を中心に全国各地で開催いたしました。

各会場には多くの方にご来場いただき、会員の皆さまをはじめ、関係団体の方々のご支援・ご協力により、無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。

本イベントでは、箱庭づくりや丸太切り、建設機械体験など、多岐にわたる企画を通して造園の魅力を発信し、多くの方々にご参加いただきました。自然に親しみながら造園の仕事を身近に感じていただく良い機会となりました。

また今回は、会場にてキャラクター名称の募集を実施し、多くの来場者の皆さまからご応募をいただきました。厳正なる審査の結果、「はぐりーん」に決定いたしました。今後は本キャラクターとともに、フェスティバルをより一層盛り上げてまいります。

ここに、当日の実施内容、会場担当者アンケート結果およびPR活動の実績をとりまとめ、下記のとおりご報告いたします。

なお、今後とも造園業の発展に寄与するとともに、造園のことを広く知っていただく場として「全国造園フェスティバル」を一層充実させていく所存ですので、本イベントに対するご質問・ご意見・ご要望等がありましたら事務局までお気軽にお寄せ下さい。

関係各位におかれましては、フェスティバルへのご協力に重ねてお礼申し上げますとともに、今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年3月吉日

(一社)日本造園建設業協会  
会 長 和田 新也

# 開催会場数

## 全国造園フェスティバル 開催会場数

(2025/10/31現在)

総支部	支部	2025年	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
北海道		1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	1
	北海道	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	1
東北		6	5	6	4	3	2	6	6	6	8	5	6	7	7	6	8	7	7	9	5
	青森県	1		1	1			1	1	1	2	2	1	2	2	2	3	2	1	1	1
	岩手県	1	1	1				1		1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	宮城県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	秋田県	1	1	1	1	1		1	2	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1
	山形県	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
	福島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1		1	1	2	2	
関東・甲信		23	25	18	16	10	11	24	25	22	19	25	20	21	21	20	23	22	23	79	22
	茨城県	1	1	1	1	1	1		1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1
	栃木県							1	1	1			/	/	/	/	1	1	1	1	1
	群馬県	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
	埼玉県	1	3	1	1	2	1	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
	千葉県	5	4	5	5	4	2	4	4	5	5	5	5	5	6	5	4	6	6	3	3
	東京都	10	12	8	6	2	3	10	11	8	7	12	8	10	9	9	11	9	9	66	9
	神奈川県	3	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	山梨県	2	3	1	1	1	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	長野県							1	1	1		1	1	1	1	1	2	1	2	2	3
北陸		2	2	2	4	4	1	5	5	5	5	6	5	6	6	7	7	7	8	4	3
	新潟県	1	1	1	1	1		1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	1	1	1
	富山県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1
	石川県				2	2		3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	2	1
中部		4	4	4	4	2	1	4	4	4	4	4	6	4	2	4	5	4	4	5	13
	岐阜県	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	3
	静岡県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	2	1
	愛知県	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	※1	1	1	1	1	1	8
	三重県	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	※1	1	1	1	1	1	1
近畿		7	8	7	6	4	1	8	8	8	8	8	8	8	8	10	9	8	7	5	3
	福井県	1	1	1	2	1		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	
	滋賀県	1	2	1	1			2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	2	1		
	京都府	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2
	大阪府	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	兵庫県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	奈良県	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	和歌山県	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
中国		8	8	6	5	2	2	7	7	7	8	8	6	5	6	6	9	9	8	7	14
	岡山県	1	1					1	1	1	1	1					1	1	1		
	広島県	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	3	1	1	1	1	1	1	2	2	3
	鳥取県	1	1	1				1	1	1	2	1	2	1	2	2	2	2	1	1	4
	島根県	2	2	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3
	山口県	2	2	2	2	1		2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	3	3	4
四国		5	6	6	4	4	3	6	6	6	6	5	5	5	4	5	5	5	6	5	6
	徳島県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	香川県	2	2	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	3	2	3
	高知県	1	2	2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	愛媛県	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
九州		5	5	4	7	4	3	12	12	12	14	11	14	15	14	14	14	13	14	16	16
	福岡県	1	1	1	1	2		3	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	7
	佐賀県				1		1	4	3	3	5	2	3	4	3	3	3	3	3	5	3
	長崎県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
	熊本県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	大分県							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	宮崎県	1	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	鹿児島県	1	1		2			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
沖縄		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1
	沖縄県	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4
合計		62	65	55	51	33	25	74	75	72	74	74	72	73	70	74	83	77	80	136	84

※1 中部総支部として岐阜県内で開催

- 会場数には中止会場を含む。

## ■ 開催会場一覧

※ 開催・参加企業はHPにて掲載

No.	都道府県	開催日	開催場所	所在地
1	北海道	8/2	国営滝野すずらん丘陵公園	札幌市
2	青森県	10/25.26	ヒロロ	弘前市大字大町
3	岩手県	10/25.26	盛岡市仙北地区活動センター	盛岡市
4	宮城県	10/19	国営みちのく杜の湖畔公園	宮城県川崎町
5	秋田県	10/25.26	秋田市千秋公園	秋田市
6	山形県	9/13	山形市蔵王みはらしの丘	山形市
7	福島県	11/3	あづま総合運動公園	福島市
8	茨城県	10/4	笠松運動公園	那珂市
9	群馬県	11/29	群馬県立金山総合公園（ぐんまこどもの国）	太田市
10	埼玉県	11/14	埼玉県庁敷地内	さいたま市
11	千葉県	10/4	千葉県立行田公園	船橋市
12	千葉県	10/11.12	船橋市天沼弁天池公園	船橋市
13	千葉県	10/13	県立幕張海浜公園	千葉市
14	千葉県	10/18	千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道	柏市
15	千葉県	10/19	千葉県立北総花の丘公園	印西市
16	東京都	6/1.2	世田谷公園	世田谷区
17	東京都	6/7.8	東久留米市役所	東久留米市
18	東京都	10/5	豊島区役所	豊島区
19	東京都	10/18.19	都立木場公園	江東区
20	東京都	10/19	都立戸山公園	新宿区
21	東京都	10/25	日比谷公園	千代田区
22	東京都	10/25	豊洲ふ頭内公園	江東区
23	東京都	11/1.2	代々木公園	渋谷区
24	東京都	11/15.16	新宿中央公園	新宿区
25	東京都	11/16	江東区立東陽公園	江東区
26	神奈川県	10/25	日比谷花壇大船フラワーセンター	鎌倉市
27	神奈川県	10/26	県立相模原公園	相模原市
28	神奈川県	11/23	東高根森林公園	川崎市
29	新潟県	10/11	国営越後丘陵公園	長岡市
30	富山県	9/27	富山駅イベントスペース	富山市
31	山梨県	10/18	小瀬スポーツ公園	甲府市小瀬町
32	山梨県	10/25	アイメッセ山梨	甲府市大津町
33	岐阜県	11/1	オアシスパーク	各務原市
34	静岡県	10/18.19	アクト通り	浜松市
35	愛知県	10/9	名城公園フラワープラザ	名古屋市

36	三重県	9/20	北勢中央公園	四日市市
37	福井県	11/24	ハピリン (ハピテラス)	福井市
38	滋賀県	10/11	彦根市荒神山公園	彦根市日夏町
39	京都府	10/4	梅小路公園	京都市
40	大阪府	11/2	浪花公園	大阪市
41	兵庫県	9/27	県立明石公園	明石市
42	奈良県	10/19	大和郡山市総合公園	大和郡山市
43	和歌山県	10/11	和歌山マリーナシティ	和歌山市
44	鳥取県	10/19	とっとり花回廊	西伯郡南部町
45	島根県	9/14	島根県立西部高等技術校	益田市
46	島根県	10/26	くにびきメッセ	松江市
47	岡山県	10/19	倉敷みらい公園	倉敷市
48	広島県	9/20	広島市森林公園	庄原市
49	広島県	10/11	国営備北丘陵公園	広島市
50	山口県	10/5	亀山公園ふれあい広場	山口市
51	山口県	10/18.19	オーヴィジョン海峡ゆめ広場	下関市
52	徳島県	10/4	あすたむらんど徳島	板野郡板野町
53	香川県	10/11	国営讃岐まんのう公園	仲多度郡まんのう町
54	香川県	10/19	仏生山公園	高松市
55	愛媛県	10/25	愛媛県立とべ動物園	伊予郡砥部町
56	高知県	10/3	高知市中央公園	高知市
57	福岡県	10/26	国営海の中道海浜公園	福岡市
58	長崎県	10/4、5	長崎県庁敷地内	長崎市
59	熊本県	10/25	水前寺江津湖公園	熊本市
60	宮崎県	10/13	宮崎県総合文化公園	宮崎市
61	鹿児島県	10/4	センテラス天文館	鹿児島市千日町
62	沖縄県	11/9	沖縄県総合運動公園	沖縄県沖縄市

## ○ 新テーマキャラクターの名前決定

### 人とつながる 緑とつながる



全国造園フェスティバルのキャラクター名を来場者の中から一般公募。100件を超える多くの応募をいただいた中から、厳正なる審査の結果、ペンネーム みどり様の「はぐりーん」に決定しました。

「はぐ」は育む、hug（抱きしめる、抱擁）の意味、ぐりーんはグリーンで植物を表し、はぐりーん→植物を抱きしめる、みんなで育むの造語です。

また、はぐりーん→葉 green の意味も含め、植物たちが生き生きと緑の葉を茂らせられるよう、みんなで抱きしめるように大切に育んでいこうという意味が込められています。

## ○ 会場の様子

### ■北海道（国営滝野すずらん公園）



枯山水体験

### ■福島（あづま総合運動公園）



軽トラガーデン

### ■千葉（手賀沼自然ふれあい緑道）



四ツ目垣風車

### ■東京（代々木公園）



花苗等の販売

### ■東京（都立戸山公園）



丸太切り体験

### ■福井（ハピテラス）



球根つかみどり

### ■岐阜（オアシスパーク）



ウッドバーニング製作体験

### ■愛知（名城公園）



寄せ植え教室

### ■京都（梅小路公園）



輪投げ

### ■滋賀（荒神山公園）



高所作業車体験

### ■島根（くにびきメッセ）



コケ玉作り

### ■熊本（水前寺江津湖公園）



花苗配布

日 幸 報 (昭和34年4月14日 第三種郵便物認可) 2025年(令和7年)10月28日 火曜日

### 造園フェスティバルづくり体験

#### 日造協福岡県支部イベント

また、マウンプリの体験をした人にはシクラメンの苗、アンケートに答えた人には花の種をプレゼント、笑顔で苗を受け取る子供たちの姿が見られた。

この時期は、支那から33社の約40人が参加した。取材に応じた山本厚志事業委員長は、「皆さんに造園の楽しさを感じてほしい」と語った。

福岡県支部では、今年もマウンプリづくり体験とみどりに関するアンケートを実施した。

マウンプリは、支那が準備した約10人分のシクラメン、モミジ、イチョウなど、福岡市東区の海の中道海浜公園で、剪定枝を道徳公園の無形入園日でもあり、朝から多くの来園者が会場を訪れた。多くの家族連れが会場を訪れ、楽しみながらアンケートのアドバイスを聞きながらマウンプリづくりに取り組んだ。



## 九建日報

発行所  
株式会社 九建日報社  
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-13  
電話代表092(431)5361番  
FAX 092(431)7618番  
購読料1ヶ月7,800円

福岡県 (九建日報)

日刊建設新聞 2025年(令和7年)10月7日(火曜日) 福岡県



行田フェスタの開催にあたっては、鈴木孝吾と藤木園緑化土木のスタッフが

## 植樹など通して緑化貢献

### 藤木園・共栄緑化グループ

#### 行田公園 日造協フェスタを展開

藤木園緑化土木(福岡県)は、緑化に貢献する「植樹」や「緑化」を推進する「日造協」の活動の一環として、10月7日(火曜日)に、行田公園(福岡県)で行田フェスタを開催した。当日は、緑化に貢献する「植樹」や「緑化」を推進する「日造協」の活動の一環として、10月7日(火曜日)に、行田公園(福岡県)で行田フェスタを開催した。

当日は、緑化に貢献する「植樹」や「緑化」を推進する「日造協」の活動の一環として、10月7日(火曜日)に、行田公園(福岡県)で行田フェスタを開催した。



参加者が次々と訪れ、アンケートに回答などした







千葉県 (日刊建設新聞)

第 20 回

# 全国造園フェスティバル 2025 開催報告

「全国造園フェスティバル」は、都市公園法施行 50 周年の記念事業として、その前年の 2005 年にスタート。造園の認知度向上や地域との連携強化などを主な目的に 10 月をコア月として全国の日造協会員が中心となりそれぞれの地域の公園や広場でさまざまなイベントを開催してきました。今年は第 20 回を迎えテーマも新たに「人とつながる緑とつながる」として実施しました。本号ではその一部を紹介します。

## 秋田「Green & Flower Fes in AKITA 2025」

この日のために生まれた日本庭園

我々は県造協とともに、2022 年より千秋公園内でのイベントを通じて、利用者ニーズの把握や公園利用者の動態調査、地域関係者の想いの収集などを行い、より良い公園利活用の検討を進めてまいりました。

また、協賛金も年々増加するなど、千秋公園への理解や緑産業への期待の表れであると捉えております。

今年度は当初 2 日間の開催予定が土曜日のみとなりましたが、クリスマスリース作りや寄せ植えワークショップなどの声が寄せられ、協会運営への理解が深まるとともに、今後の協会のあり方を考える契機にもなっています。

また、落ち葉プールや「はたらくのりもの」体験では、多くの子どもたちが楽しそうに参加する姿が見られ、公園の新たな魅力創出にもつながりました。

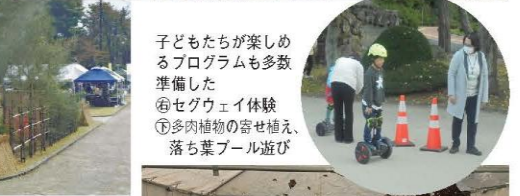
さらに、「協会の存続意義」が問われる中、本イベントを通じて参加会員からは「今まで当公園を利用した事のない人

の声を直接聞けた」、「創作活動において会員相互の情報共有が出来た」、「業務では管理作業が主であるが作庭に関わり造園の魅力を再認識出来た」などの声が寄せられ、協会運営への理解が深まるとともに、今後の協会のあり方を考える契機にもなっています。

今後も、全国造園フェスティバルの目的履行と共に、新たな造園領域の事業化に結びつく活動となるよう、会員の理解と熱意で進めて参りたいと思います。  
秋田県支部 佐々木 創太 (むつみ造園土木株)



会場の全景 (「はたらくのりもの」体験の高所作業車も)



子どもたちが楽しめるプログラムも多数準備した  
④セグウェイ体験  
⑤多肉植物の寄せ植え  
⑥落ち葉プール遊び



## 東京「2025 としまエコライフフェア」に出展

2025 年 10 月 5 日(日)、豊島区役所で開催された「としまエコライフフェア(主催:豊島区)」に環境学習のコンテンツを出展し、造園フェスティバルの一環として、一般参加者に向けてアピールしました。

私たちが行った「みつばちクイズ&蜜源植物のカード作り」ワークショップでは、みつばちに関するクイズに挑戦、知られざる「みつばちのヒミツ」に迫ります。さらに、剪定によって廃棄される蜜源植物のドライ素材で、オリジナルカード作りを体験してもらいました。

また、同区役所 10 階「豊島の森」には、かつての豊島区の自然を再現した憩いの空間があり、植物の年間維持管理を行っている当社スタッフが植生など自然のし

くみを語る、植物観察ツアーのガイドを務めました。

「としまエコライフフェア」は、環境にやさしい暮らしについて考え、学ぶイベントです。「みんなであつなろう 地球にも人にもやさしいまちへ」をスローガンに、産官学民の約 20 団体が参加。私たちの展示ブースには、200 名を超える来場があり、花のタネやチラシを配布して、日造協の取組みを PR しました。

参加者からは「みつばちの生態を知ることができてよかった」「いろんな植物に触れて楽しかった」などの声があがりました。クイズやワークショップを通じて、自然と私たちの暮らしの繋がりを楽しく学んでいただく機会になりました。

東京都支部 前杉 昌枝 (西武造園株)



会場の様子



豊島の森ガイド



カード作り風景



WS クイズ参加風景

# 第20回 全国造園フェスティバル 各地の開催概要のご紹介

フェスティバル当日の様子を一覧形式で一部をご紹介します（ご連絡いただいた開催予定を掲載しています）

開催支所	開催日	開催場所
北海道	8/2	国営滝野すずらん丘陵公園
青森県	10/25/26	ヒロロ
岩手県	10/25/26	盛岡市仙北地区活動センター
宮城県	10/19	国営みものく杜の湖畔公園
秋田県	10/25/26	秋田市千秋公園
山形県	9/13	山形市蔵王みはらしの丘
福島県	11/3	あづま総合運動公園
茨城県	10/4	笠松運動公園
群馬県	11/29	群馬立山総合公園（ぐんまこども園）
埼玉県	11/14	埼玉県庁敷地内
千葉県	10/4	千葉県立行田公園
千葉県	10/11/12	船橋市天沼弁天池公園
千葉県	10/13	県立幕張海浜公園
千葉県	10/18	千葉県立手賀沼自然ふれあい緑道
千葉県	11/16	千葉県立北総花の丘公園
東京都	6/12	世田谷公園

開催支所	開催日	開催場所
東京都	6/7/8	東久留米市役所
東京都	10/5	豊島区役所
東京都	10/18/19	都立木場公園
東京都	10/19	都立戸山公園
東京都	10/25	日比谷公園
東京都	10/25	豊洲ふ頭内公園
東京都	11/1/2	代々木公園
東京都	10/15/16	新宿中央公園
東京都	11/16	江東区立東陽公園
東京都	10/25	日比谷花壇大船フラワーセンター
神奈川県	10/26	県立相模原公園
神奈川県	11/23	東高根森林公園
新潟県	10/11	国営越後丘陵公園
富山県	9/27	富山駅イベントスペース
山梨県	10/18	小瀬スポーツ公園
山梨県	10/25	アイメッセ山梨

開催支所	開催日	開催場所
岐阜県	11/1	オアシスパーク
静岡県	10/18/19	アクト通り
愛知県	10/9	名城公園フラワープラザ
三重県	9/20	北勢中央公園
滋賀県	11/24	ハピリン（ハピテラス）
滋賀県	10/11	彦根市荒神山公園
京都府	10/4	梅小路公園
大阪府	11/2	浪花公園
兵庫県	9/27	県立明石公園
奈良県	10/19	大和郡山市総合公園
和歌山県	10/11	和歌山マリナーシティ
鳥取県	10/19	とっとり花回廊
鳥取県	9/14	鳥取県立西部高等技術校
鳥取県	10/26	くにびきメッセ
岡山県	10/19	倉敷みらい公園
広島県	9/20	広島市森林公園

開催支所	開催日	開催場所
広島県	10/11	国営備北丘陵公園
山口県	10/5	龜山公園ふれあい広場
山口県	10/18/19	オーヴィジョン海峡ゆめ広場
徳島県	10/4	あすたむらんど徳島
香川県	10/11	国営讃岐まんのう公園
香川県	10/19	仏生山公園
愛媛県	10/25	愛媛県立とべ動物園
高知県	10/3	高知市中央公園
福岡県	10/26	国営海の中道海浜公園
長崎県	10/4/5	長崎県庁敷地内
熊本県	10/25	水前寺江津湖公園
宮崎県	10/13	宮崎県総合文化公園
鹿児島県	10/4	センテラス天文館
沖縄県	11/9	沖縄県総合運動公園

## 全国造園フェスティバル キャラクター名「はぐりーん」に決定



人とつながる  
緑とつながる

全国造園フェスティバルのキャラクター名募集にご応募いただき、ありがとうございました。

お越しいただいた皆さまからのたくさんの素敵なお名前の中から、厳正な審査の結果、福岡県ペンネーム みどりさんの「はぐりーん」に決定しました。

「はぐ」は「はぐくむ」や英語の hug（抱きしめる、抱擁）の意味を持ち、「ぐりーん」は植物を表しています。

「はぐりーん」はこの二つを組み合わせた造語で、植物を抱きしめ、みんなで育てるという意味を込めています。

また、「はぐりーん」には 葉 + green の意味も含まれており、植物たちが生き生きと緑の葉を茂らせられるよう、みんなで抱きしめるように大切に育てていこうという想いも込められています。

### 北海道 8/2 国営滝野すずらん丘陵公園

今回初めて実施した枯山水体験は、大人も子供も一度始めると夢中になり、ご年配の方からは「いい体験をさせてもらいました」と大好評でした。



### 千葉県 11/16 千葉県立北総花の丘公園

公園でチューリップの球根植付け体験を実施。穴掘りから植付けまで行い、来春の開花を楽しみに再来園する声もあり楽しんでもらえました。



### 東京都 10/19 都立戸山公園内

新宿区の祭りと共催。多くの協賛企業が参加し、3カ所のステージで終日イベントを実施。親子での来場者も多く、丸太切りは年少者に人気でした。



### 新潟県 10/11 国営越後丘陵公園

今回、初めての試みで「タネだんど作り」を実施しました。子供も大人も楽しんで作ってくれて好評でした。



### 富山県 9/27 富山駅イベントスペース

ケンセツジョブフェス2025の中で開催。親子連れが多く好評をいただき、造園業が建設業界の一分野であることを広くアピールできました。



### 愛知県 10/9 名城公園フラワープラザ

「秋風薫る寄せ植え教室」の名称を意識して、寄せ植えのための花苗の種類を厳選したので、参加者に大変喜ばれました。



### 滋賀県 10/11 荒神山公園

子ども向けのイベントで、建設機械に触れることで建設業に少しでも興味を持ってもらえたのがよかったです。



### 和歌山県 10/11 和歌山マリナーシティリゾート

観葉植物の苗の配布は好評で、多くの方に喜んでいただきました。また、農業の使用方法や花の育て方に関する問い合わせも寄せられました。



### 鳥取県 10/19 とっとり花回廊

この会場での開催は2年目で、「樹木医と歩く森の自然観察ガイド」を実施。秋の自然や草花に囲まれ、多くの来場者楽しんでいただきました。



### 広島県 10/11 国営備北丘陵公園

球根つかみ取り体験で手に入れたチューリップの球根を使って、庭をどうレイアウトするかを楽しそうに語ってくださる姿が印象的でした。



## ○ 会場担当者アンケート結果

対象：会場担当者 回答数 43/62 会場中 (回答率 69.3%)

1. 開催にたずさわった日造協の会員企業は？

開催組織	会場数
単独	10
支部内の全会員	13
支部内の複数会員	20
その他・共同	0

2. 他団体の協力がありましたか？

有無	会場数
有り	25
無し	18
無回答	0

3. 準備期間はどのくらいでしたか？

日数	会場数
0～10日	26
11～20日	1
21～30日	7
31～40日	2
41～50日	1
51～60日	1
61日～	5

「あった」回答の詳細：

⇒県造協、市造協、同青年部、指定管理者、公園職員、協同組合、イベント実行委員会、スポンサー、支援学校卒業生など

4-①. 要した人員は？

人数(人)	会場数
0～5人	7
6～10人	15
11～15人	10
16～20人	6
21～25人	3
26～30人	1
31人～	1
無回答	0

4-②. 要した経費は？（人件費・交通費を除く）

金額	会場数
～5万円	9
～10万円	14
～20万円	10
～30万円	5
～40万円	2
～50万円	0
51万円～	1
未定	2

5-①. イベントの来場者数は？

人数	会場数
～200人	13
～500人	10
～1,000人	3
～2,000人	5
～3,000人	2
3,001人～	9
不明・無回答	1

5-②. 共催イベント名

共催イベント名
2025 まちづくり総合住宅フェア、ものづくりフェア 2025in ヒロロ、仙北地区文化祭、建設フェスタ 2025、あづまの郷ウォーク、県庁オープンデー、第98回緑と花のジャンボ市、新宿区ふれあいフェスタ 2025、新宿中央公園「秋まつり」、建設ジョブフェス 2025、日比谷公園ガーデニングショー、グリーンフェスタ in 東陽公園、山梨県林業まつり、建設まつり、北中マルシェ 2025、福井市環境フェア、グリーンフェアーひこね、ひこねいろ文化祭、グリーンフェスタ 2025 in とっとり花回廊、くらしき都市緑化 2025 フェア、島根技能フェスティバルin松江、備北コスモスピクニック、下関市緑化祭、あすたむらんど「木のイベント」、江津湖みなも祭り 2025、おきなわ建設フェスタ

6. 来場者の反応はいかがでしたか？

	会場数
★★★：良かった	33
★★：普通	8
★：あまり良くなかった	2

**A：「良かった」の理由**

- ・ クラフト作成や枯山水の体験をした人が皆さん笑顔だった。
- ・ お祭りとの共催イベントにより多くの来場者あり、大盛況だった。
- ・ 途中から雨が降り出したにもかかわらず、「どうしても体験したい」という声も多く、カッパを着て多くのご家族が植樹体験に参加していた。
- ・ 親子連れが多く来場され、花や緑に興味を持ってもらうきっかけ作りができた。
- ・ 植樹体験イベントに関しては、親子で多くのご参加をいただいた。
- ・ 生活の中の緑の在り方を提供できた。
- ・ 今年も苗木と種の配布を楽しみにして来てくださる家族が増えた。
- ・ いくつ球根が掴めるか競うことができ、家族みんなで参加できた。
- ・ 風船配布、チューリップの球根・花鉢配布、緑の相談所が好評であった。
- ・ 好評につき来年も楽しみにしていますと言われた。
- ・ 悪天候にもかかわらず、開始前から長蛇の列が出来るほど大盛況でした。
- ・ 頂いた種子配布も大変好評で、お子さんからお年寄りまで竹細工イベントも楽しく参加頂けた。
- ・ お庭のない方には実際に土を触る機会がないため、チューリップの球根植付け体験がとても喜ばれた。
- ・ 家族連れの皆さまに特にワークショップが好評で、「イベントを 1 日だけでなく、来年以降も実施してほしい」といった前向きなご意見もいただいた。
- ・ 公園内の各所で多彩なイベントが同時開催され、来場者が楽しめる内容となっていた。
- ・ 自然素材を使った庭園や植物ショップ、青空の下の飲食ブースなど、五感で楽しめる非日常空間を多くの来場者に満喫していただけた点が良かった。
- ・ 開催場所を道の駅近くにしたことでアクセスが良く、買い物や食事もしめると好評だった。道の駅とのコラボ企画により双方の来訪者も増え、良い相乗効果が生まれた。
- ・ 10mの四ツ目垣に一つひとつ飾った風車が風に乗って美しく回り、来園者からも好評で人気のフォトスポットになった。
- ・ 昨年も開催した「球根の箸つかみ」は、小さなお子様からお年寄りまで人気があり、笑顔であふれていました。
- ・ 様々な業種のものづくりが同時に開催され特に子供たちが喜んで作業しているのが良かった。他業種との同時開催により、普段は見ることのできない作業を見学できた点も良かった。

**B：「普通」の理由**

- ・ ブーケ作りを使うセンニチコウの生育が悪く、満開ではなかったため。

**C：「あまり良くなかった」の理由**

- ・ 当協会の指定管理のイベントであるから。
- ・ イベント開催にあたり公園職員の協力を得るためにも、春のサクラやヒラドの季節など来園者が増える時期に開催できると望ましい。

7. 独自で企画したイベントはありましたか？

	会場数
A：あった	32
B：なかった・無回答	11

**企画したイベントの内容**

(クラフト): 松ぼっくりペンダント作成・てるてるポプリ作成・クリスマスリース作り・ミニチュアガーデン作成・苔玉作り・寄せ植え体験・箱庭づくり・ウッドバーニング製作体験・インセクトハウス(虫の隠れ家)づくり・花釣り・剪定枝を使った森のスプーン・フォーク作り・枯山水づくり・たね団子づくり・チューリップの球根植付け体験

(体験): 高所作業車等体験・丸太切り・3D CAD 体験・造園クイズ・樹木探検ツアー・ポッチャ体験

(実演): 造園技術パフォーマンス・剪定教室・竹細工教室

(展示): 庭創作コンテスト・写真による活動報告ブース・パネル展示、四ツ目垣風車

(配布・販売): 球根配布・花の種の配布等・特産物の販売

(講演・講習): ウォーキングレッスン・花壇づくり講習会・庭木、園芸相談・ドッグトレーニング教室

(その他): 樹木の剪定ボランティア活動・清掃ボランティア・公園利用に関するアンケート、舞妓写真撮影、着物着付け体験

8. 今後イベントを盛り上げるための、企画や改善点などございましたらご意見をお聞かせ下さい。

**【目的・企画・運営】**

- ・ イベントのシンボルキャラクター(名前を含めて)がどこまで浸透するか。
- ・ 重機などを展示し、お子さんに乗っていただける企画を行いたいと考えている。
- ・ 今後も大勢の人が集まる場所で造園業イベントを行うといいと思う。
- ・ 摘むことのできる花の種類を増やす。
- ・ 新しいテーマも決まり、今後は出来るだけ予算のかからない新しい企画で知恵をしぼって協議したいと思う。
- ・ 前年の全国各地が取り組んだ造園フェスティバルマップのような来場者が見ることが出来る掲示物があればよいと思う。
- ・ 花苗配布だけではなく、寄せ植え教室の実施を検討中。
- ・ ポスターの制作も復活してほしい。市民の方に広く造園建設業を知って頂くのに大変良いと思う。
- ・ 続けていくことが大切だと思う。
- ・ キッチンカー等の出店があれば集客につながるとの意見があった。
- ・ 子供を対象とした無料イベントは注目度が高いので、PRを行う機会として適している。
- ・ 前回は「こうえんだより」に掲載していたが今回は掲載しなかった為、来園者が少なく、広報の重要性を実感した。
- ・ 植物園という場所柄もあるが、来場者の方の 2027 国際園芸博覧会や植物、造園という業種・仕事に対する関心の高さを感じることもあり、よかった。
- ・ パンフレット配布など、地域住民へのイベント紹介。全国各地の公園で開催されていることをもっとPRして欲しい。
- ・ SNSを見て来場された方が多かったため、今後は市民への告知方法についてさらに検討したい。
- ・

9. その他、ご要望やご意見等ございましたらご記入下さい。

- ・ 通常の実施時期よりも早い月に実施したにもかかわらず、イベントツールの準備等で対応していただきありがとうございました。おかげさまで無事にトラブルなく、楽しく終了することができた。
- ・ 種はとても好評でした。種子配布は継続して頂きたい。
- ・ イベントのキャラクター名が決まり次第、今後どのような形で発信していくのがよいかご協議いただければと思う。
- ・ 新しいキャラクターが可愛いので、グッズ展開があればいい。
- ・ イベントツールの見直し。
- ・ 造園の魅力を紹介できるものを検討してほしい。
- ・ この時期に播種できる種にしてほしい。種の保存期間を明記してほしい。
- ・ 花の種は、喜んでいたが種類がイマイチでした。
- ・ 造園業の仕事紹介パネルや種子配布を実施し、『クビツヤアカカミキリ』についてのカードと一緒に配布・説明したことで、認知度向上につながった。

※頂いたご意見は、取りまとめの都合上、回答項目の移動や同様の内容をまとめている場合がございます。予めご了承下さい。

## ○ 全国造園フェスティバルの開催の意義の例

### ■花と緑の大切さや造園のアピール

- ・ 自然体験や環境学習をとおして、子供から大人まで幅広い年齢の方（とくに子供たち）に造園や植物の魅力が伝えられ、興味を持ってもらえる。
- ・ 造園業は「植木屋さん」と思われていたが、もっと広い領域の仕事をしていることを知ってもらえる。

### ■行政や地域住民との交流

- ・ 普段話す機会が少ない地域住民や役所担当者と交流できる。
- ・ 公園利用者にアンケートを取り、生の声を聞くことができる。
- ・ アンケートの集計データを役所に提出し、利用者の声を伝えられる。
- ・ 植物の育成や手入れを学ぶ場として、

### ■会員企業にとって

- ・ 指定管理している公園や施設におけるイベントの一つとして取り組み、行政に評価される。
- ・ 開催・企画を通じて、社員やその家族、社外業者との親睦を深めることができる。
- ・ 開催準備する社員の企画力・提案力が高まる。
- ・ 造園の伝統技術・最新技術をアピールし、造園技術の普及に貢献できる。

一般社団法人 日本造園建設業協会 造園フェスティバル係

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-15-2-4F

TEL : 03-5684-0011 FAX : 03-5684-0012

<http://www.jalc.or.jp> E-mail: festival\_go アットマーク jalc.or.jp